Japan Geoscience Union Meeting 2011
(May 22-27 2011 at Makuhari, Chiba, Japan)
©2011. Japan Geoscience Union. All Rights Reserved.

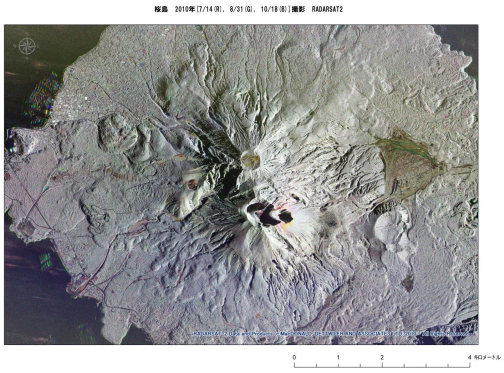
STT057-P04 会場:コンベンションホール 時間:5 月 24 日 16:15-18:45

RADARSAT 衛星のアプリケーション利用
Application use for RADARSAT satellite

村木 広和 [1*]
HIROKAZU MURAKI[1*]

[1] 株式会社イメージワン　GEO 事業部
[1]ImageONE Co.,Ltd. GEO Division

RADRSAT 衛星シリーズは、1 号機で運用から 16 年目に入り、2 号機で運用から 4 年目に入りました。2014 年から 2015 年、2016 年と各年度で、１機ごとに合計 3 機を打ち上げる RCM（RADARSAT Constellation Mission）があります。
これまで弊社では、RADARSAT 衛星により撮像された画像販売を主に行ってきましたが、2009 年以降、合成開口レーダ画像からオルソの生産やレーダ強度画像（db 値）を用いた農作物の分類や生長判別、InSAR 処理等の解析・分析処理を行ってきました。生産体制の整備と共に今後、これらの付加価値商品の提供を行ってゆきます。



キーワード: 合成開口レーダ, 高分解モード
Keywords: SAR, Spot-Light Mode